

あとがき

第二十二回日蓮宗化学研究発表大会は、令和三年十一月二十五日、日蓮宗務院で開催されました。本冊子は当日の発表内容を収録したものです。「開催された」とはいえ、昨年度同様にすべてWebサービスZoomを用いたりリモート会議でありました。本年度はSDGsとLGBTQを主要テーマに研究発表とパネルディスカッションを行いました。研究発表は四名の方により行われましたが、すべてリモート(Zoom)による発表でありました。現今の社会状況を鑑みた寺院のあり方について模索・考察する貴重な発表もありましたので是非ご一読ください。

大会後半では「LGBTQについて理解を深めるために」というテーマでパネルディスカッションを開催いたしました。パネラーは藤山 新氏(東京都立大学ダイバーシティ推進室特任研究員)、赤川 学氏(東京大学大学院教授)、林 隆嗣氏(こども教育宝仙大学教授)、菊岡 妙光氏(現宗研研究員・岡山県正福寺修徒)の四名にお願いし、荻輪顕量氏(現宗研顧問・東京大学大学院教授・千葉県龍蔵寺修徒)にコーディネートをお願いし、それぞれの立場からのご意見等々、活発な意見のやり取りが為されました。詳細は誌面をご覧ください。

最後に、当大会は本宗教師は勿論のこと、寺族、檀信徒にも門戸を開いた化学研究研鑽の証を発表する場としています。宗門研究機関発展へのご協力を切にお願いいたします。